

こおりやま広域圏連携事業  
**福島大学と郡山市の連携による**  
**「福島大学公開授業」を開催します**

令和元年6月25日  
 郡山市農林部  
 農業政策課  
 担当：松本 和弘  
**TEL：924—2201**

福島大学と郡山市の連携事業の一環として、農業、食品産業等の発展及び振興を図ることを目的に、福島大学公開授業を開催します。

- 1 日 時 6月28日(金) 午後6時～午後8時
- 2 会 場 市役所特別会議室（本庁舎2階）
- 3 テーマ 「フードマトリクスという新しい視点」  
 食物の味や香り、栄養の決め手となる「フードマトリクス」という新しい視点について紹介します。
- 4 対 象 どなたでも（参加無料・事前申込み不要）  
 ※こおりやま広域圏にお住まいの方の参加もお待ちしております。
- 5 講 師 名古屋大学 教授 松田 幹（まつだ つかさ）氏（来春福島大学着任予定）

【講師略歴】

**2004年** 名古屋大学大学院生命農学研究科長・農学部長  
**2009年** 名古屋大学生物機能開発利用研究センター長  
 専 門 農芸化学、食品科学、応用分子細胞生物学  
 委 員 （公社）日本農芸化学会 理事  
 厚生労働省食品衛生分科会乳肉水産食品部会委員 ほか  
 著 書 食品成分のはたらき、分子栄養学（いずれも分担執筆） など



<福島大学と郡山市連携による福島大学公開授業>

福島大学経済経営学類・大学院経済学研究科と郡山市は**2013年**に連携協定を締結し、農業、食品産業等の一層の発展、震災からの復興と風評の払しょくを図ることを目的に始めました。

さらに、今年**4月1日**に開設した福島大学食農学類と郡山市は覚書を締結し、農業、食品産業等に関する連携協力を目的としており、今回の公開授業は覚書締結後初の開催となります。

なお、今年度は全3回の開催を予定しており、今回は第1回目となります。

# 食物は成分の総和以上！

「フードマトリクスという新しい視点」

6/28<sup>金</sup>

18:00～20:00



# 画像・環境モニタリングで栽培管理!?

「画像分析で切り拓く郡山市の新たな農業」

8/20<sup>火</sup>

14:00～16:00



# イノシシ対策！獣「害」を獣「益」に！

「地域を元気にする獣害対策」

11/29<sup>金</sup>

18:00～20:00



郡山市・福島大学連携による

# 福島大学 公開授業

無 料  
申込不要

**会場** 郡山市役所 本庁舎2階 特別会議室(郡山市朝日一丁目23番7号)

**対象者** 農業者、食品関連事業者、一般の方など どなたでも参加できます。

**参加料** 無料(事前申込不要)

お  
問  
合  
せ

郡山市 農林部 農業政策課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

TEL:024-924-2201

FAX:024-938-3150



福島大学 食農学類

〒960-1296 福島市金谷川1番地

経済経営学類棟3F 食農地域連携推進室

TEL・FAX:024-548-8380

6/28<sup>金</sup>  
18:00~20:00



## 第1回 『フードマトリクスという新しい視点』

食物の美味しさや栄養価は含まれる成分や栄養素によって決まります。

しかし、含まれる成分を混ぜ合わせても食物のように美味しくはありませんし、栄養価も異なります。味や香りや栄養の決め手となるフードマトリクスについて紹介します。

講師 名古屋大学 教授 **松田 幹 氏** (来春福島大学着任予定)  
【専門】 農芸化学、食品科学、応用分子細胞生物学

8/20<sup>火</sup>  
14:00~16:00



## 第2回 『画像分析で切り拓く

## 郡山市の新たな農業』

郡山市を舞台とする食農学類の新たな研究・教育プロジェクトが始動しました。テーマは「画像分析 × 農業の可能性」。近年注目されるワイン用ブドウと主力園芸品目のトマトを試験対象として、画像と環境のモニタリングで革新的な栽培管理手法の構築を目指す研究に皆さんを招待します。

講師 福島大学 准教授 **則藤 孝志 氏**  
【専門】 農業経済学、フードシステム論、地域経済・経営論



福島大学 准教授 **深山 陽子 氏**  
【専門】 蔬菜花き園芸学、園芸環境工学



福島大学 准教授 **窪田 陽介 氏**  
【専門】 農業工学、生産機械学

11/29<sup>金</sup>  
18:00~20:00



## 第3回 『地域を元気にする獣害対策』

近年、野生動物による農林業被害が全国的な問題になっています。人口減少や高齢化が進む農村では、担い手不足により被害の対策が進んでいない場合があります。また、ツキノワグマやイノシシが都市に侵入し、人にケガを負わせる事件も発生しています。この講義では、正しい獣害対策を実施することで、地域全体が活性化する取組を紹介します。

講師 福島大学 准教授 **望月 翔太 氏**  
【専門】 野生動物管理学、景観生態学

※都合により、講師、日程、内容等は変更となる場合があります。

紙へリサイクル可  
この印刷物は、印刷用の  
紙へリサイクルできます。



責任ある森林管理により生まれた  
FSC® 認証紙を使用しています。